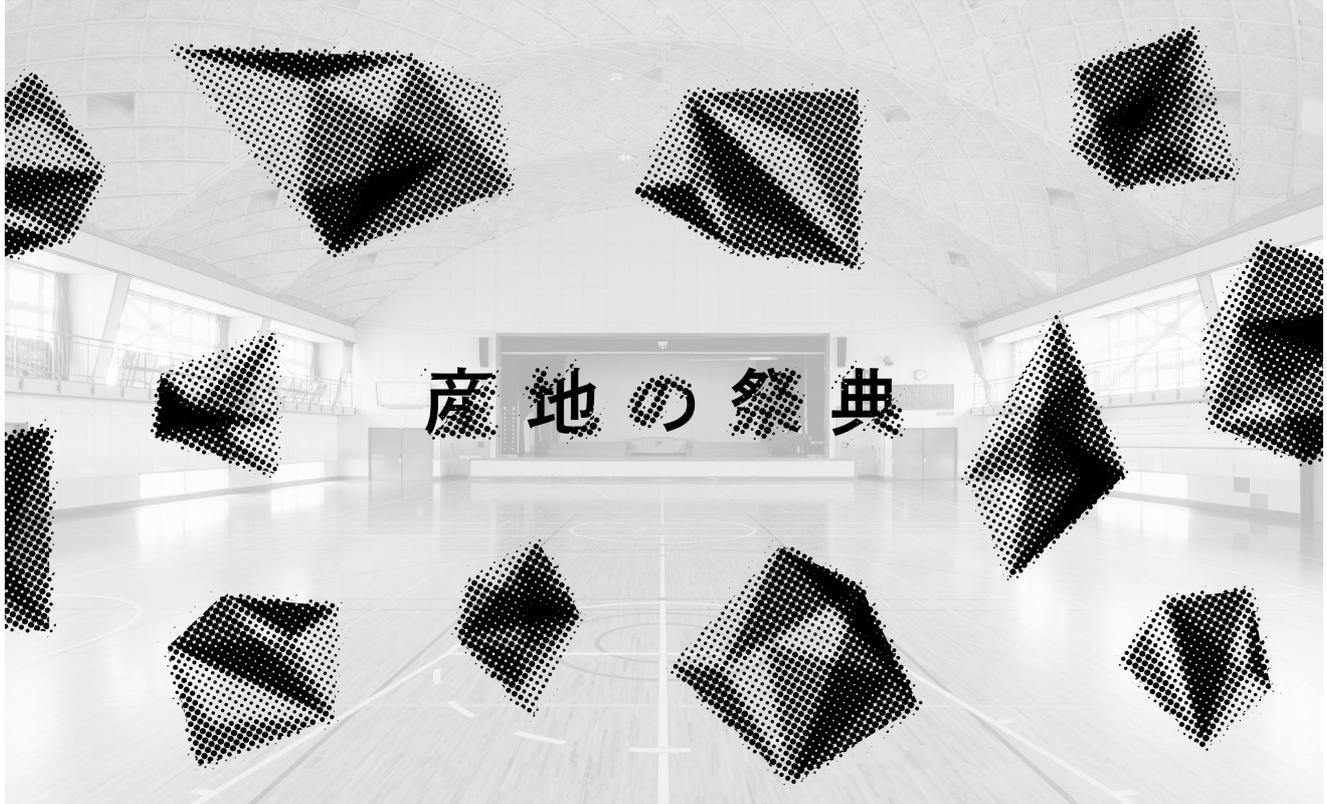


産地 の 祭典

集え！産地。ものづくりの町で、産地の未来を創造する。

「産地の祭典」が2017年10月に誕生！

初回は「燕三条 ^{こうば}工場の祭典」のオフィシャルイベントとしてワークショップやトークを展開



©「燕三条 工場の祭典」実行委員会

ものづくりの町、燕三条を舞台に毎年開催され、今年で5年目を迎える「燕三条 工場の祭典」の会期中、オフィシャルイベントとして「産地の祭典」を初開催いたします。10月5日（木）～8日（日）、国内外から11の産地が集いブースを構え、展示販売に加え、トークショーやワークショップなど、さまざまな催しを実施します。

日本が世界に誇る産地として、「燕三条 工場の祭典」は、これまでもミラノサローネへの出展、高岡クラフツーリズムとのコラボレーションイベント、台湾の台北で開催された台湾文博会への参加など、国内外のさまざまな産地との交流を通し、各地と繋がり、また、実際に協働した体験を通して、それぞれの産地の特色を多角的に伝えてきました。

この機に、「燕三条 工場の祭典」を起点に、ともに学んでいく場づくりを、「産地の祭典」の名のもと、スタートします。学びの舞台は「三条ものづくり学校」。「燕三条 工場の祭典」の期間中、全国及び海外より11の産地の「今」が、この場所に集い、日本全国、世界各地に点在する産地の「今」を体感し、さまざまな「産地」を見て、触れて、学び、持ち帰る。「産地の祭典」の4日間に、みなさまも是非ご参加下さい。

開催概要

イベント名	燕三条 工場の祭典 オフィシャルイベント 「産地の祭典」
開催日時	期間：10月5日(木)～8日(日) 時間：10時～17時
会場	三条ものづくり学校 多目的ホール 新潟県三条市桜木町12-38（三条駅より徒歩20分）
コンテンツ	産地ショップ・産地ワークショップ・産地スクールトーク（トークショー）
出展産地	石巻工房（宮城県石巻市）/G.F.G.S.（新潟県加茂市）/高岡伝統産業青年会（富山県高岡市） RENEW（福井県鯖江市等）/うなぎの寝床（福岡県筑後地方）/きんしゃい有田皿紀行（佐賀県有田町） マルヒロ（長崎県波佐見町）/育陶園（沖縄県壺屋）/VISION GLASS JP（インドムンバイ、日本） 元泰竹藝社supported by台湾文博会（台湾竹山）/INDUSTRIAL JP（東京都港区）/計11プロジェクト
主催	三条市/「燕三条 工場の祭典」実行委員会
協力	三条ものづくり学校
Facebook	https://www.facebook.com/sanchifes/

「産地の祭典」 参加産地とワークショップのご案内 1

石巻工房（宮城県石巻市）



2011年、宮城県石巻市にてスタート。デザインのかでDIYの可能性を広げ、地元で自立運営する小さな産業として、地域の活性化を目指している。

ワークショップ ※予約以外も随時対応可

1 「MINI箱作り」

日程 10月5日（木）～10月8日（日）

時間 10:00 13:00 16:00（予約可）所要時間/約30分

参加費 ￥2,000/税込

2 「バードコール作り」

日程 10月5日（木）～10月8日（日）

時間 10:00 13:00 16:00（予約可）

参加費 ￥500/税込

G.F.G.S.（新潟県加茂市）

G.F.G.S.

Made In Kamo, Niigata, Japan
Pure Organic Cotton 100%



ピュアオーガニックコットン100%のカットソーを完全受注生産でつくる新潟県加茂市のファクトリーブランド。ブランド名の由来は、「Good Feel, Good Style.」

高岡伝統産業青年会（富山県高岡市）



高岡伝統産業青年会



「ガラは悪いが、腕は良い」のキャッチコピーのもと、鋳物や漆器など製造現場を巡る工場見学ツアー「高岡クラフトリズム」を開催。伝統工芸の新しいあり方を提唱している。

ワークショップ

1 「螺鈿お箸・金箔皿の体験」

日程 10月5日（木）、6日（金）

時間 10:00、13:00、14:00、16:00（予約可）

所要時間/約1時間

参加費 ￥3,000/税込

2 「砂型による錫のぐい飲み鋳造体験」

日程 10月7日（土）、8日（日）

時間 10:00、13:00、14:00、16:00（予約可）

所要時間/約1時間

参加費 ￥3,000/税込

RENEW（福井県鯖江市等）

RENEW
FACTORY TOUR & MARKET



福井県鯖江市河和田地区で開催される体感型マーケット。1,500年以上の歴史をもつ越前漆器や国内唯一の産地でもある眼鏡など、時代に合わせたものづくりを続けている。

ワークショップ

1 「セルロースアセテートでつくるオリジナルピンズ」

日程 10月5日（木）、6日（金）

時間 10:00、13:00、14:00、16:00（予約可）

所要時間/約1～1.5時間

参加費 ￥2,000/税込

2 「漆のスタンプ蒔絵体験」（土・日）

日程 10月7日（土）、8日（日）

時間 10:00、13:00、14:00、16:00（予約可）

所要時間/約30分

参加費 コースター ￥1,500、お椀 ￥3,000～/税込

「産地の祭典」 参加産地とワークショップのご案内 2

うなぎの寝床 (福岡県筑後地方)



九州ちくごのものづくりを伝えるアンテナショップ。「つくりて」と「つかいて」の間に立ち、伝統工芸や文化、風土などを顕在化し伝える活動を行なっている。

きんしゃい有田豆皿紀行 (佐賀県有田町)



「大きな産地を小さな皿を通して見る」をテーマに、400年続く日本有数の磁器の産地・有田にて丹精込めて作られた有田焼の豆皿を紹介。

ワークショップ

1 「転写技法でつくる自分だけの豆皿」

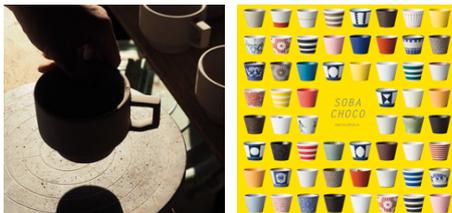
日程 10月5日 (木) ~10月8日 (日)

時間 10:00、14:00 (7日は10:00のみ)

所要時間/約30分

参加費 1枚¥2,700/税込+送料 *一人複数枚製作可能

マルヒロ (長崎県波佐見町)



400年以上受け継がれてきた技術で、長崎県の工芸品 波佐見焼 (はさみやき) の食器やインテリア装飾具を作っている陶磁器メーカー。

ワークショップ

1 「飾り皿を作ろう！」

日程 10月5日 (木) ~10月8日 (日)

時間 開場時間内で随時受付

所要時間/約20分

参加費 ¥2,500/税込

2 「色塗り恵比寿さんの壁掛け」

日程 10月5日 (木) ~10月8日 (日)

時間 開場時間内で随時受付

所要時間/約10分~20分

参加費 ¥1,500/税込

育陶園 (沖縄県壺屋)



壺屋焼窯元
育陶園



沖縄県那覇市壺屋の地で、300年続く壺屋焼の窯元。沖縄の土と手作りの釉薬にこだわり、産地の背景にある変わらない故郷の風景とその時代に必要とされるものづくりを目指す。

ワークショップ

1 「陶芸シーサー作り体験」

日程 10月5日 (木) ~10月8日 (日)

時間 10:00、14:00、16:00 (6日のみ10:00、14:00) (予約可)

所要時間/約45分~1時間

参加費 ¥3,500/税込、送料込

*会期終了後、焼成し、ご自宅に発送いたします

*1日限定15名さま

*土が無くなり次第終了となります。

「産地の祭典」 参加産地とワークショップのご案内 3

VISION GLASS JP(インドムンバイ・日本)



インドの理化学ガラスメーカーBOROSIL社が製造する、
 ミニマルな形状で日々の暮らしに幅広くつかえるグラス。
 2013年より日本向けのブランディング、卸、販売を行う。

ワークショップ

1 「グラス検品ワークショップ」

日程 10月5日(木)～10月8日(日)
 時間 5日14:00、6日13:00、7日10:00、14:00、
 8日13:00(全て予約可)
 所要時間/約1時間
 参加費 ￥1,000/税込(VISION GLASS 1 個お土産付き)

元泰竹藝社 (台湾竹山)



台湾随一の竹製品産地として有名な竹山より参加。激減し
 ている竹の需要に対して、現代のスタイルに合わせた製品
 開発や製造工程の見直しなどで、産地としての復興を目指
 している。※supported by台湾文博会

ワークショップ

1 「天然素材100%のハンドメイド竹の歯ブラシ作り」

日程 10月5日(木)、7日(土)、8日(日)
 時間 5日(木)、7日(金) 10:00、14:00、16:00
 8日(日) 10:00、13:00
 所要時間/約40分
 参加費 ￥1,000/税込

INDUSTRIAL JP (東京都港区)



日本の町工場を音楽レーベル化するプロジェクト。町工場
 の美しく、緻密な製造過程から生み出される音と映像を、
 気鋭のトラックメーカーがリミックスし、作品化していく。

ワークショップ

産地の祭典開催期間中、参加産地によるお土産付きワ
 ークショップを実施します。

お申し込み方法

当日申し込み(先着順)もしくは事前申し込みにて
 承ります。

定員となり次第、締め切りとさせていただきますので、
 事前申込みをおすすめします。

以下のサイトより必要事項をご記入のうえ、
 お申し込みください。

<https://goo.gl/forms/cNHTN513oK5rcecj1>

産地スクールトーク



「産地」について、各地のキーパーソンをお招きし、「燕三条 工場の祭典」のメンバーによる進行でお話を伺います。ご参加された皆様が実際に産地に足を運んでみたり、未来を創造していくきっかけとなるトークを目指します。

参加費 1スクール¥500/4日間フリーパス¥1,000/税込
 参加方法 当日参加可能。ご予約が優先につき、事前申込みをおすすめしています。以下のサイトより必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
<https://goo.gl/forms/cNHTN513oK5rcecj1>

産地スクールトーク スケジュール

時間	産地	タイトル	スピーカー/所在地	聞き手
10月6日(金)				
11:00~	インド & 日本	インドのガラスが日本で暮らす 私たちに問いかけること	國府田典明/VISION GLASS JP 小沢朋子/モコモシ 【インドムンバイ、日本】	田中辰幸 ツバメコーヒー オーナー 「燕三条 工場の祭典」 実行委員
15:00~	台湾 x 沖縄	南国の産地、異国の産地。そこにあふれる光を観るため人が集う産地	林家宏/元泰竹藝社【台湾竹山】 高江洲尚平/育陶園7代目 【沖縄壺屋】	村上純司 LIQUID オーナー 「燕三条 工場の祭典」 実行委員
10月7日(土)				
11:00~	高岡 x 鯖江	北陸オープンファクトリーが 私たちに見せてくれたもの	羽田純/ROLE、高岡伝統産業青年会 【富山県高岡市】 新山直広/TSUGI、RENEW 【福井県鯖江市等】	武田修美 株式会社MGNET代表 「燕三条 工場の祭典」 実行委員長
15:00~	波佐見 x 有田	隣接する陶磁器産地の 関わりと役割と特殊性を知る	馬場匡平/マルヒロ 【長崎県波佐見市】 山口武之 /ヤマト陶磁器株式会社、 きんしゃい有田豆皿紀行 【佐賀県有田市】	山田遊 method代表 「燕三条 工場の祭典」 全体監修
10月8日(日)				
11:00~	筑後 x 加茂	あるものをいかす、注文ごとにつくる。定番で紡ぎゆく産地	白水高広/うなぎの寝床 【福岡県筑後地方】 小柳雄一郎/G.F.G.S. 【新潟県加茂市】	田中辰幸 ツバメコーヒー オーナー 「燕三条 工場の祭典」 実行委員
12:30~	東京 x 燕三条 工場の祭典	工場と産地のアートディレクションは いかにしてなされたか	下浜臨太郎/INDUSTRIAL JP 【東京】 坂本政則/DELTRO【東京】	小林弘和 & 山田春奈 SPREAD 「燕三条 工場の祭典」 アートディレクション、デザイン
15:00~	石巻	DIYとデザインで人と街を興す。石巻発、世界のDIYメーカー	千葉隆博/石巻工房 工房長 【宮城県石巻市】	田中辰幸 ツバメコーヒー オーナー 「燕三条 工場の祭典」 実行委員

「産地の祭典」への思い

遠く昔から、この町のアイデンティティとしてあり続けている「工場」。

この「工場」という存在を失うことなく、さらなる進化と継続を目指し、まずは、産地の「今」を知ることから始めよう。

私たちは、古くから続く産地の名前を挙げることはできても、産地に足を運び、現場の空気を体感する機会は、決して多くはない。

例えば100年後、産地のものづくりはどうなっているのだろうか？ そのときに産地を支えているのは、当然、今を生きる私たちではないし、子どもたちですらない。

まだ目に見えない、未来の担い手に産地を託すために、今できることは何だろうか。

場所や環境や条件、つくるものに違いはあれど、

現在の産地は、大なり小なり同じような問題や悩みを抱えている。

私たちは、自分たちの暮らす産地、また、世界各地の産地で、

世代を超えて、今生きる人々と共に、産地の未来を見出していきたい。

この取り組みに参加する、それぞれの産地との繋がりや、協働した体験を通じ、それぞれの産地が成立していく上で、背景となったルーツを知り、

特色を多角的に伝え、共に学んでいく場を作る。

知る、見る、買う、作る、聞く、という学びを通じて、

産地の「今」を共に体感しよう。

ものづくりの町で、産地の未来を創造するために。



「産地の祭典」は、新潟県燕三条地域の企業が一堂に工場を開放する年に1度のイベント、第5回「燕三条 工場の祭典」のオフィシャルイベントとして初回を迎えます。

「燕三条 工場の祭典」開催概要

開催名	「燕三条 工場の祭典」
開催期間	2017年10月5日(木) - 10月8日(日) 9:00-16:00 (*12:00-13:00を除く)
開催場所	新潟県三条市・燕市全域 及び 周辺地域
参加工場数	103拠点 (工場：83社 耕場：11社 購場：9社)
交通	上越新幹線・JR弥彦線「燕三条駅」より 「三条ものづくり学校」まで臨時バスを運行予定 ※便数に限りがあります
参加費	無料
Website	http://kouba-fes.jp
SNS	https://www.facebook.com/koubafes https://twitter.com/koubafes

運営チーム

主催・運営/「燕三条 工場の祭典」 実行委員会
イベント全体監修/method、アートディレクション&デザイン/SPREAD
ブックレット編集/「燕三条 工場の祭典」 実行委員会
撮影/神宮巨樹&古平和弘、プロジェクション/岸本智也、プレス/HOW INC.

読者お問い合わせ先

「燕三条 工場の祭典」 実行委員会 事務局
公益財団法人燕三条地場産業振興センター 産業振興部燕三条ブランド推進課
ADDRESS. 新潟県三条市須頃1-17 TEL. 0256-35-7811

掲載・取材に関するお問い合わせ先

燕三条 工場の祭典 PR 事務局/ HOW INC.
TEL. 03-5414-6405 / FAX. 03-5414-6406
EMAIL. pressrelease@how-pr.co.jp